産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和5年12月14日(木)
- II 会議時間 午後1時00分～午後2時19分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎高岡 宏和 ○田中 勝文 熊木 義城
酒井 善広 山口 泰祐 横田 誠二
上田 武 水口 清志
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 本田 利麻
- [副議長] ※横田 誠二 副議長は委員として出席
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 新開 広恵
- [事務局職員] 笹島 永吉 高嶋 史恵 吉本 昌史
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第78号 令和5年度高岡市一般会計補正予算(第4号)のうち本委員会所管分
- 議案第80号 令和5年度高岡市駐車場事業会計補正予算(第2号)
- 議案第84号 令和5年度高岡市水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第85号 令和5年度高岡市工業用水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第86号 令和5年度高岡市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第90号 工事請負契約の締結について(下伏間江福田線立体交差整備Ⅱ期その
1工事)
- 議案第94号 財産の取得について(排水ポンプ車)
及び
- 議案第95号 財産の取得について(排水ポンプユニット)

以上、予算議案5件及びその他議案3件の計8件について、審査の結果、全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 78 号のうち、市単独農業土木事業費及び農林水産施設災害復旧費について】

- 令和 5 年 7 月の大雨災害の復旧費用として、市単独の事業費が 1,720 万円計上されており、国の補助を受けての事業費についても、林道関係で 1,710 万円、農地・農道・水路関係で 2,390 万円が計上されているが、7 月の大雨災害による被害はどの程度まで復旧しているのか。また、今後新たに復旧工事等が必要となる場合には予算措置等も含めてどのように対処するのか。加えて、復旧に際して地域の負担はあるのか。
- △ 被災箇所数については、8 月末時点で農地が 63 箇所、ため池が 3 箇所、林道が 23 路線と公表しているが、その後に農地の被害が 10 箇所程度増加している。復旧状況としては、林道については土砂撤去がほぼ完了して通行止めも解消しているが、国の補助査定を受けた 1 路線のみ現在も通行止めとなっている。農地については 9 割程度の復旧が完了しているが、大規模な被災箇所については繰越明許費補正により 6 年度に復旧予定である。今後新たな被災箇所が生じた場合は、地域の方々から相談を受けながら、市単独の事業費で対応することになると思う。地域の負担については、原則として受益者に 2 割の負担をいただいている。災害の場合には負担率を下げ、1 割を負担いただいているが、今回のように激甚災害に指定され国の補助を受ける箇所については、原則として地域の負担は 5 % であり、国の補助率によってはさらに低くなることもある。
- 復旧作業が残っている箇所は早急に復旧していただきたい。また、なるべく地域の負担が発生しないようにしていただきたい。(要望)
- 小規模な災害については地域の方々が集まって対応している場合もあるが、人口減少と高齢化によって徐々に地域の力が低下しており、特に中山間地域においては、地域の力だけでは災害に対応できない状況になっていると思う。中山間地域に対する支援について、見解は。
- △ 7 月の大雨では大きな被害が発生し、復旧に向けて本市ではできる限りの対応をしてきた。地域の方々においても、自身の生活を取り戻すために復旧作業に尽力していただいております。感謝申し上げます。中山間地域については、例えば商店が無くなる、公共交通が著しく不便になる、医療体制が不足するなど、全国的に様々な問題が生じている。中山間地域における生活を守るためにも振興が重要であり、本市はこれまで、中山間地域の農地等の持続的な活用・管理に対する支援や、地域を持続可能なものとしていくための地域活動の担い手の確保等の取り組みをしてきた。具体的には、地域おこし協力隊員の配置や、都市農村交流の促進による関係人口の増加、中山間地域に興味を持っていただくためのイベントの支援等である。また、国や県に対して中山間地域の振興についての要望もしており、引き続き国や県と連携して取り組んでいきたいと思っている。
- 中山間地域の災害復旧についても、国・県のレベルで考えていかなければならない。(意見)

【議案第 78 号のうち、北陸デスティネーションキャンペーン連携事業費について】

- 令和 6 年 3 月の北陸新幹線の金沢・敦賀間開業に合わせた新高岡駅周辺での記念イベントや、新高岡駅の観光交流センターのサインのリニューアルについて、詳細は。また、北陸デスティネーションキャンペーンまでに賑わいや利便性を高めることが重要だと思うが、今後も同様の事業を継続していく予定なのか。
- △ 今回の補正予算は金沢・敦賀間開業に向けてのものであり、開業以降の北陸デスティネーションキャンペーンに向けての動きについては今後検討していきたいと考えている。
- △ 記念イベントについて現段階で検討している内容としては、金沢・敦賀間開業日の 3 月 16 日に、新幹線で新高岡駅を訪れていただいた方や、親子連れを対象として、飲食ブースや子ども向けの体験コーナーの設置をしたいと考えており、開業を祝う機会づくりに努めたい。サインのリニューアルについては、観光交流センターにおける観光案内所の機能がわかりづらいとの意見を受け、初めて新高岡駅を訪れた方でも一目で認識しやすい表示内容に変更できないかを検討している。
- サインのリニューアルは、コンビニ側の通路と高岡大兜が飾ってある通路の両方か。
- △ どちらも変更を検討している。
- 北陸デスティネーションキャンペーンは高岡をアピールする良い機会である。キャンペーンテーマ「五つの美」を考慮しながら観光施策に取り組んでほしい。(要望)
- 記念イベントのうち、子ども向けの体験コーナーとは。
- △ まだ検討中であり、関係者との調整の都合もあることから、正式に決まった段階で具体的な報告をさせていただきたい。
- 子どもたちが興味を持てるイベントを期待する。(要望)

【議案第 78 号のうち、海外販路開拓支援事業費について】

- 事業の具体的な内容は。
- △ 市長がアメリカのフォートウェーン市と台湾の台北市を訪問したことを受け、さらに経済交流を深めるために事業を進めたい。具体的には、本市の技術をアピールすることを目的として、フォートウェーン市内において本市の伝統工芸品等の商品を販売・購入できる体制を構築することを目指し、現地のニーズやトレンドの調査を行う。台北市については、高岡商工会議所と連携してウェブ商談会を実施したいと考えている。
- 引き続き、海外販路開拓の可能性を探っていただきたい。(要望)

【議案第 78 号のうち、除雪事業費について】

- 市町村合併した当時は、市内で一斉に除雪すると約 3,000 万円かかっていた。物価高騰や機材の高騰のなか、市内で一斉に除雪した場合に、どの程度の経費がかかると想定しているのか。
- △ 人件費や機材の高騰により、除雪の経費は年々増加している。雪の降り方にもよ

るが、市内全域で除雪すると1回あたり約6,000万円が必要だと思われる。また、大雪の場合は、最大で約8,000万円かかると想定している。

○ 地域ぐるみ除排雪における経費は。

△ 市内には33の地域ぐるみ除排雪協議会がある。それらの協議会に対しては計76台の除雪機を貸し出しているが、本市としては特に経費は支払っておらず、地域で運用していただいている状況である。

○ 雪が多い年だと計5億円ほどの除雪の経費がかかる場合もあることから、地域ぐるみ除排雪を強化する方が現実的ではないか。地域ぐるみ除排雪協議会に対しては、今後どのような働きかけをし、どのような方向に導いていくのか。

△ 除雪の経費が年々増加するなかで、地域ぐるみ除排雪協議会の位置付けは非常に大きいと考えている。地域の方々に協力していただくためにどうすべきか、具体的な方向性について現在検討中である。どのように除雪を進めていくのか、市の道路除雪全体で考え方を整理しなければならない時期に来ていると認識している。

△ 地域ぐるみ除排雪については、除雪機を運転するための資格取得に向けた講習会を実施している。毎回60名前後に受講していただいているが、実際に除雪機を運転している人は限られており、負担になっていると思う。本市として考えなければならないのは、現在使用していただいている除雪機がかなり古いため更新時期を早めることと、資格の取得者を増やして輪番制等の持続可能な体制を作っていただくことだと思う。どのように人を確保していくのかは一番の課題と思っているが、これは除雪に限らず、公園管理や災害対策等の幅広い面での課題だと思っている。今後検討していく上で、議員各位の力添えもいただきたい。

○ 公的な除雪と地域での除雪の在り方を今後とも検討いただきたい。また、市民からは、歩道用のハンドガイド式の除雪機が増えると良いとの意見を伺ったことから、参考にさせていただきたい。(要望)

【議案第86号について】

○ 新たに設置する水位センサーの性能は。

△ 水位センサーは、開水路1箇所と下水管内4箇所の計5箇所に設置する予定としている。水位をセンチメートル単位で測定でき、そのデータをスマートフォンやタブレットで確認できる形式のものを考えている。

○ 得られたデータの活用方法は。例えば、災害が起こった場合は災害対策本部にデータを集約するなど、検討しているのか。

△ 令和5年9月の補正予算において、危機管理課で導入することとなった気象情報等の様々な情報を一元的に管理できる災害情報システム上で、水位のデータが確認可能となることを想定している。

【議案第94号について】

○ 排水ポンプ車の納入時期は。

△ 令和7年3月頃を目途としている。なお、排水ポンプユニットについては、6年4月頃を目途としている。

- 納入までに1年以上かかる理由は。また、納入前に災害が発生した場合、どのように対処する予定なのか。
- △ 排水ポンプ車は受注生産であるため、生産に時間がかかっている状況である。納入されるまでは、排水ポンプユニットで対応したいと考えている。
- 災害に不安を感じている市民が多くおられることから、排水ポンプ車や排水ポンプユニットを有効に活用していただきたい。(要望)

2 報告事項について

〈 当局から、報告はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 次回の本委員会の開催について

令和6年2月1日(木)午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【新高岡駅周辺賑わい創出支援事業補助金について】

- 当該補助金の交付状況は。
- △ 当該補助金は令和5年6月の補正予算で計上したもので、新高岡駅周辺の賑わい創出のためにコンテナやキッチンカーを取り入れたイベント等に対して、補助するものである。現時点では交付実績はないが、6年3月の北陸新幹線の金沢・敦賀間開業に合わせて活用いただけるよう周知に取り組んでいる。
- 交付実績がないとのことだが、出店の条件が厳しいのではないか。
- △ 例えばキッチンカーを取り入れたイベントの場合は、2台以上が出店するイベント事業を企画し、事前に周知いただくことが要件であり、出店のハードルは高くないと考えている。本市としての周知が不足しているかもしれないので、各種イベントの際に働きかけていきたいと思う。
- 駅周辺にキッチンカー等が継続して出店していれば賑わい創出にも繋がると思う。1件でも多く補助金を交付できるように努めていただきたい。(要望)

【令和5年7月の大雨災害を受けての農地転用等の状況について】

- 令和5年7月の大雨災害では農地や農業施設の被害も多かったが、この災害を受けて農業をやめようとする方もいるのでは。農地転用等に関する申請状況は。
- △ 今回の災害に限らず、農業の継続が困難との相談はある程度寄せられている。相談者に対しては、JAへの相談や地域の担い手の紹介などにより、農業を続けていただく形を模索できないかと伝えている。なるべく耕作放棄地や適正に管理されな

い農地が生じないように、地域の方々と協力して取り組んでいく。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

- (1) 令和5年度「高岡イノベーション推進事業補助金」の期間延長について
- (2) 伝統工芸ワークショップの開催について
- (3) 第38回日本海高岡なべ祭りについて

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【第38回日本海高岡なべ祭りについて】

- スマホ決済に対応予定とのことだが、具体的にどの店舗で対応するのか。また、PayPayやLINE Pay等の種類があるなか、どのサービスに対応するのか。
- △ 現段階では、各店舗からスマホ決済に対応予定かどうかの報告は受けていないため、当日にならないと確認ができない。サービスについては、PayPay等のQRコード決済が可能なものと聞いている。
- QRコードによって、支払いがスムーズになり、並ぶ時間も多少緩和できると思う。もし可能であれば、どの店舗が対応しているのかを案内してほしい。(要望)
- QRコードの導入は良いことだと思う。一方で、チケットを購入して並んだ方々が、品切れでなべを食べられない可能性もあるのでは。基本的にはチケットを購入した方々が優先されるべきだと思う。(意見)
- △ 前回からチケット販売を廃止しており、各店舗での現金支払いとなっている。店舗によってはスマホ決済でも支払うことができる。

[上下水道局]

- 給水車の納入について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（28名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	梶 本 敏 規
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	江 尻 典 世
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	森 川 朋 子	土木維持課長	割 田 一 郎
農業水産課長	永 井 正 之	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	車 忠 宏	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	堺 啓 央	上下水道局次長	五 十 里 康 夫
		上下水道局参事	川 渕 利 直
		総務課長	亀 岡 勝 彦
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	寺 井 義 則
		施設維持課長	高 林 隆